

7/6~18

バレーボール男子 フランス代表合宿in沖縄市



東京2020オリンピックに出場するバレーボール男子フランス代表の選手団が、7月6日、来県し、沖縄市で事前合宿に入りました。

8日に行われた歓迎式で、ロラン・ティリ監督は「素晴らしいおもてなしと素晴らしい施設のある沖縄市で合宿ができて嬉しい。皆様のサポートを受け、最高の準備ができると確信している」と話し、桑江市長にユニフォームを贈りました。

キャプテンのバンジャマン・トニウッティ選手は「一戦一戦試合を大事にし、最高のオリンピックにしたい」と決意を述べました。

桑江市長は「市民・県民 一丸となって応援しています。子ども達に夢を与えるような白熱したゲームと、メダルの獲得を期待している」と歓迎の意を伝え、フランス選手団一人ひとりに名前入りの沖縄市オリジナルトートバッグを贈りました。

歓迎式後には、報道陣等が見守る中、公開練習が行われました。

10日には、市内の小中高校7校のバレー部の生徒とオンラインで交流会を行いました。

合宿は、沖縄市営体育館で18日まで実施されました。



6/28~7/2

第3回市産品PR展(食品限定)

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、市産品の販売機会が減少している事業者を応援するため、市役所で食品限定の市産品PR展を開催しました。

今年3月に続き、3回目の開催となる今回は、初出展1事業者、共同出展を含めた全12事業者が出展し、お菓子、黒糖、はちみつ、ドレッシング、ウイスキーなど、沖縄市自慢の「食」が集まりました。

ニュースで開催を知った市民も訪れ、賑わっていました。



6/21~25

男女共同参画社会の実現に向けて

毎年6月23日から29日までの男女共同参画週間にあわせて、市役所で「令和3年度沖縄市男女共同参画週間パネル展」を開催しました。

男女が互いにその人権を尊重し、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現に向け、市の取組状況等を紹介しました。

市民が男女共同参画について理解し、できることから取り組んでもらうきっかけづくりの場を提供しました。



6/18 沖縄市民憲章推進協議会会長就任

沖縄市民憲章推進協議会の第8代会長に就任した仲宗根弘氏が市役所を訪れ、桑江市長に就任のあいさつを行いました。

市民憲章とは、沖縄市民であることに誇りを持ち、明るく住みよいまちを築こうという考えを表したものです。

沖縄市民憲章推進協議会は、清掃活動や作文コンクール、実践者表彰などを行い、市民憲章の普及活動を推進していきます。

会長の任期は2年間で、行政や関係団体と連携しながら様々な事業に取り組みます。



会長は右から3人目

7/1 運動のテーマは「#生きづらさを、生きていく。」

「更生保護の日」である7月1日、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行のない社会を築こうとする「第71回社会を明るくする運動」のメッセージ伝達式が、市役所で行われ、中部保護区保護司会の島袋邦男会長等が菅義偉内閣総理大臣等のメッセージを読みあげ、桑江市長等へ手渡しました。

7月1日から1か月間を運動の強調月間とし、全国各地で新聞やテレビなどによる広報活動等が行われました。



7/8 人命救助感謝状贈呈式

心肺停止状態に陥った方に適切な救命処置を施し尊い命を救ったとして、高江洲裕氏に対し、感謝状が贈られました。

4月20日に市美里の理髪店での散髪後、雑談中に店主の男性が意識を失いました。病院に勤める高江洲氏は、すぐに携帯電話のスピーカー機能で119番通報を行いながら、心肺蘇生法を実施しました。

適切な判断と行動により、男性は後遺症なく社会復帰することができました。



6/25 唯一無二のマンホール「ポケふた」設置

人気ゲーム「ポケットモンスター」のキャラクターがデザインされたマンホール「ポケふた」のお披露目会が、沖縄こどもの国で開催され、桑江市長、沖縄こどもの国の神里興弘園長、関係者の他、人気のポケモン「ピカチュウ」が参加しました。

株式会社ポケモンの人と人、人と地域をつなぎ、観光・航空事業への貢献を目指す「そらとぶピカチュウプロジェクト」の一環である「ポケふた」は、それぞれの地域にゆかりのある風景や文化をイメージしたポケモンキャラクターがデザインされたマンホールです。

沖縄市の「ポケふた」は、2本のスティックでビートを打ち鳴らすポケモン「バチンキー」と美しい花のポケモン「ラランテス」が描かれており、華やかなエイサー演舞を連想させるデザインになっています。

世界でたった一つの本市の「ポケふた」は、沖縄こどもの国メインゲート前に設置されています！

ぜひ、見つけてください！



7/6 沖縄市「少年の主張大会」

今年の少年の主張大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、沖縄市青少年センターにおいて映像審査で行われました。市内9中学校から推薦された代表1名が、日常生活を通し日々考えていることを5分程度主張しました。

【最優秀賞(敬称略・順不同)】

屋良純華(宮里中学校)、豊見山優紀(球陽中学校)

【優秀賞】上原早環寧(山内中学校)、ハーディ愛梨(越来中学校)、吉野美悠明(美東中学校)、喜屋武楓花(コザ中学校)、佐藤吉星(沖縄東中学校)、宮里真里花(安慶田中学校)、榮野比真帆(美里中学校)



6/23 平和を願い 鳩が舞う

慰霊の日の6月23日、慰霊の日特別プログラムのライブ配信「慰霊の日Youtube ライブ配信」が、沖縄こどもの国ワンダーミュージアムで行われました。

戦争に関する本の紹介の他、戦争の悲惨さや平和の尊さ等を伝える「平和へのメッセージ」を配信し、正午には、戦争犠牲者に黙祷を捧げました。

フィナーレでは、平和のメッセージが書かれた白い鳩型のペーパークラフトが降り注ぎました。



7/8 教育委員会委員辞令交付

沖縄市教育委員会委員の嘉納英明氏が、7月5日付で任期満了、7月6日付で再就任となり、7月8日に市役所で行われた辞令交付式で、嘉納氏は「こどもたちのため、尽力していく」と話しました。

任期は令和7年7月5日まで。



6/30 米沢市「かりゆし議会」

姉妹都市の山形県米沢市の6月定例議会最終日に、中川勝米沢市長など議会出席者全員が、かりゆしウェアを着用するかりゆし議会が開催されました。

米沢市では、普段より、クールビズの一環として、かりゆしウェアを着用しています。



6/9~18 宅配弁当でこどもたちの笑顔づくり

居酒屋味自満チェーンと沖縄市女性連合会は、新型コロナウイルス感染症による影響で小中学校が休校となっている期間中、市内で食事の確保が困難な世帯のこどもたちに無料でおいしいお弁当を届けました。

味自満は、6月9日から1日約120食の手作り弁当を提供、14日からは、沖縄市女性連合会によるおにぎり1日約150個が加わりました。

宅配は、沖縄市社会福祉協議会が対象者を取りまとめ、市職員が配達を行いました。

6月14日には、関係機関による出発式が開催され、味自満チェーンの伊禮門清吉社長は「去年の休校期間中は、3,226食の弁当をこどもたちに届けました。今回も関係機関と連携しておいしい弁当を届けたい」と思いを語りました。

沖縄市女性連合会の久高清美会長は「行政や地域関係者が手をつないで、こどもたちを見守りたいという思いで活動を行っています。こどもたちの力になれば嬉しいです」と話しました。

